

# 国際公共政策研究科博士前期課程カリキュラムマップ

	高度な専門性と深い学識	教養	国際性	デザイン力	1年		2年	
					春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期
法律学・政治学・経済学における高度な専門的能力を身につけている	○				基礎科目 国際法 国際関係論 ミクロ経済分析Ⅰ・Ⅱ 国際公共政策のための法律学 経済数学 計量データ分析Ⅰ・Ⅱ マクロ経済分析			
著者の問題意識、方法論、分析・論証及び結論が論理的に構築された修士論文が、①新規性、②継承性、③実証性、④論理性、⑤明確性を備えたうえで、専攻分野の発展に貢献する研究内容を含んでいる	○				専門科目 <b>法律系</b> 国際法文献講読Ⅰ 国際法文献講読Ⅱ 国際法判例研究 International Law 1 International Law 2 EU法 EU域内市場法 法政策学 国際取引法Ⅰ 比較憲法論 現代私法論など <b>政治系</b> 国際関係論の理論と方法 外交論 国際連合システム論 ナショナリズム論 International Relations of East Asia History and Grand Strategy Agenda-Setting 多文化共生論 アメリカ外交論 アフリカの政治と紛争 歴史研究方法論Ⅰ・Ⅱなど <b>経済系</b> Microeconomic Theory Macroeconomic Theory Econometric Methods Advanced Econometric Methods Data Management & Analysis Political EconomicsⅠ・Ⅱ 国際経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学 現代財政システム論 労働経済学の実証分析 経済開発論 人材配置の経済学 行動経済学 経済学の理論と実証Ⅰ・Ⅱなど	研究演習Ⅰ・Ⅱ	修士論文執筆 (12月口頭報告審査会)	
専攻分野における研究能力または高度の専門性が求められる職業を担うための能力を身につけている	○							
法学、政治学、経済学以外の学問分野にも広く通曉し、それを高い次元で理解している	○							
様々な学問分野の知識とその理解を基盤とした複眼的思考力を身につけている。	○							
世界の人とコミュニケーションする能力を身につけている			○					
国際社会の一員として共生できる能力を身につけている			○		応用・展開系科目 リーダーシップを考える 実践グローバル・リーダーシップ リーダーシップデザイン ネゴシエーション			
自己の主張を明瞭・平明に記述し、明解なプレゼンテーションを行うことができる				○				
高度な学問的修練に基づいた分析手法の下に、公共利益の観点から国際的問題や日本の社会システムに関わる現実の問題に対して、解決のための政策提言をする能力を身につけている				○	応用・展開系科目 国際問題Ⅰ・Ⅱ 総合安全保障 国連安保理研究ワークショップ マスコミと公共政策 非営利組織論 インターンシップ			

単位互換制度  
・ 他研究科  
・ 国内外の学術交流協定締結校

ダブルディグリー・プログラム  
(デ・ラ・サール大学、グローニンゲン大学)